



# タミールナド州植林事業

住民参加型の植林事業により、地域の環境改善と住民の生活改善に貢献

【外部評価者】

ベガサスエンジニアリング株式会社 石井 公一

レーティング

有効性・インパクト	a	総合評価 <b>A</b>
妥当性	a	
効率性	a	
持続性	a	

本事業の目的

森林の荒廃が進行しているタミールナド州において、住民参加型の要素を取り入れた持続可能な植林事業（植林、普及活動等）を実施することにより、森林の荒廃防止・回復、生物多様性の保全、森林の生産性向上等をはかり、もって地域の環境改善および貧困削減に寄与する。

借約概要

- 承諾額／実行額：  
133億2400万円／132億8600万円
- 借約調印：1997年2月
- 借約条件：金利2.1%、返済30年（うち据置10年）、一般アンタイド
- 貸付完了：2005年5月
- 実施機関名：タミールナド州森林局
- WEBページURL：  
<http://www.forests.tn.nic.in>

本事業実施による効果(有効性・インパクト)

本事業により約1億6000万本の植林が実施され、当初計画では植林面積40万6000haを予定していたのに対し、事後評価時では45万7454haとなっており、当初計画を上回った。その植林面積は州の森林面積230万4400ha（2005年）の19.8%にあたり、州の森林率の向上に一定の効果があったと判断される。

本事業においては、地域住民が植林活動のための森林管理組合（Village Forest Committee:VFC）を設立し、植林の計画段階から実施機関である州森林局と協議を行い、住民のニーズを取り入れた植林およびVFCによる維持管理を行う住民参加型の植林活動（Joint Forest Management:JFM）が実施されたが、これにより違法伐採・放牧等による森林への圧力の減少等の環境改善効果が指摘されている。また、このVFCを通じた小規模融資を含む生活改善活動により、VFCメンバー（約46万人）の約4割が新規開業者（約17万人）となっていることから、一定程度の貧困削減効果もあったと推定される（下表参照）。

本事業の実施により概ね計画どおりの効果発現が見られ、有効性は高い。

妥当性

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、開発ニーズ、開発政策と十分に合致しており、事業実施の妥当性は高い。タミールナド州においては計画当初より植林事業、特に荒廃林の再生が最優先課題とされていたが、事後評価時点ではこれに加え、JFMによる持続可能な森林管理、森林依存者の収入の多様化等が重視されている。

効率性

本事業は、期間については計画を大幅に上回り（計画比161%）、事業費についても計画を若干上回ったものの（計画比110%）、事業スコープの変更による追加事業の実施がそれらのおもな理由であることから、効率的に実施されたと判断される。

今後の展望(持続性)

本事業では、生活改善活動の持続可能性については不明であるものの、森林局職員、VFCメンバーおよびNGO等に対して行われた研修が実施後もフェーズ2を通して継続されており、実施機関の能力および維持管理体制ともに問題ないことから、高い持続性が見込まれると評価される。

結論と教訓・提言

以上より、本事業の評価は非常に高いといえる。本事業の教訓として、事業初期段階、つまり林産物の収穫量が少なく生活改善活動のための資金確保が十分でない期間に、一時的な財政支援を行ったことなどが事業成功の要因として挙げられる。

VFCの生活改善活動による新規開業者数(累積)  
(2005年現在) (単位:人)

職種	男性	女性	合計
線香	257	1,771	2,028
竹籠	544	1,599	2,143
椰子紐	445	574	1,019
乳業	20,625	24,459	45,084
養蜂	426	249	675
養鶏	1,568	1,090	2,658
家畜	4,186	3,726	7,912
椰子編	1,055	2,071	3,126
服飾	1,082	5,611	6,693
家庭備品レンタル	161	179	340
その他	55,338	48,914	104,252
合計	85,687	90,243	175,930

[出典]タミールナド州森林局